



### 1. コークウッドツリー

ユリスシバタフライが唯一卵を産む木です。葉は心臓病や酔酔いの薬としても使われます。



### 2. ブラックワトル

ハードウッドと呼ばれる硬い木で、先住民族はこの木を使って槍やこん棒を作っていました。



### 3. シロアリの巣

シロアリが木の芯を食べ空になった部分を使って、先住民族は楽器であるデジュリドゥを作ります。



### 4. 木生シダ

1億5000万年前から変わらない姿をしている植物で恐竜映画には必ず出てくる木です。



### 5. パンダナス

果実と種は先住民族が食用にしています。葉はバスケットなどを編むのに使われていました。



### 6. バスケットファーン

シダの仲間の着生植物。雨水や落ち葉がたまるため暖かく適度な湿度がある内部は、動物や昆虫の隠れ家になります。



### 7. スタグホーンファーン

シダの仲間の着生植物。とても成長が遅い着生植物ですが、成長すると宿主の木を倒壊させるほど大きくなります。



### 8. エルクホーンファーン

スタグホーンファーンに近い種の耐寒性の植物で、個々の独立した植物の集合体となっています。



### 9. キングオーキッド

この植物の茎は成長すると3mにも達し、先住民族は下痢の薬としても使いました。



### 10. バードネストファーン

鳥の巣シダという名前であるが、このシダの上に巣を作る鳥はいません。



### 11. ノースクイーンズランドファンパーム

成長速度は非常に遅く、ここでもっとも大きいものは20m、樹齢はおよそ230年です。ケアンズ市のロゴでも使用。



### 12. カサモクレン

この木の花はおおく蜜を含んでおり、さまざまな種類の鳥や動物が蜜を吸いに来ます。果実の付いた枝はタコの足に似ているのでオクトパスツリーという別名も



### 13. ベーパーパークツリー

先住民族はこの木の葉をお茶のようにして飲み、風邪や咳の薬にしました。さらに樹皮を使い籠や水入れ、または屋根の材料としても使いました。



### 14. ブラックタン

広範囲に見られる土着の木で、この木の実を食べると舌が黒くなることから「ブラックタン (黒い舌)」と名づけられています。



### 15. ウェイトアウィルパーム

トウ家具の原料で、とげのあるつるは成長すると300mにもなります。先住民族は斧の取っ手、魚の罟、腰縄などに活用。



### 16. スティンギングツリー

激しい痛みを引き起こす神経毒性のとげで覆われており、痛みは6ヶ月間続きます。このエリアで一番危険な植物。



### 17. コーヒー

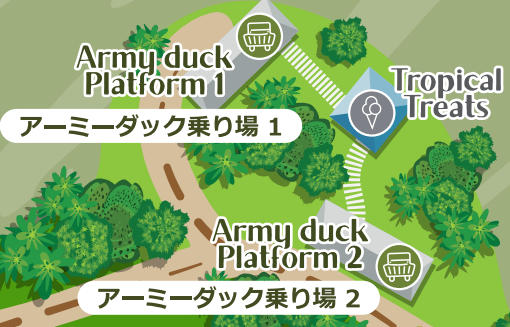
100年以上前、ここはコーヒー農園でした。そのなごりがこの木になります。



### 18. レッドダッカバナナ

一般的なバナナと異なり、赤黒い皮をもつ実がなります。ベータカロチンやビタミンCを多く含んだ甘い果物です。

rainforestation



お客様の安全のためツアー中は必ずお席に座って下さい。また車幅の外側に手や顔を出さないように!

Rainforestation NATURE PARK



# 熱帯雨林の生き物

世界遺産に囲まれた40ヘクタール（東京ドーム8.5個分）に及ぶ熱帯雨林の年間平均降水量は、2500mmに達します。クイーンズランド北部の温潤熱帯地は世界遺産に登録されており、オーストラリアの保護された自然地区“王冠の宝石”と言われ注目されています。熱帯雨林に生息している生物の多様性は、甲虫と蛾の種だけを取っても、グレートバリアリーフのすべての生物より多いとされています。熱帯雨林には200種以上の鳥たち、オーストラリア全土の60%以上の蝶がおり、さらに7.5m以上にも成長するアメジストニシキヘビ、最大15cmのカエル、グリーンツリーフロッグ、そして翼を広げると25cmにもなる蛾、ヘラクレスモスなどの生息地でもあります。では、注意して探してみましょう。



**ケアンズ  
バードウィング  
バタフライ**  
オーストラリア最大の蝶で翼を広げると20cmにもなります。



**パディメロン**  
和名はアカアシアブワラビー。熱帯雨林に住む小型のワラビーで、非常に警戒心が強い。



**ユリシシバタフライ**  
美しく光沢のある青色の羽を持ちQLD州のツーリズムの象徴として描かれることも。両翼を広げると14cm。



**キャットバード**  
ニワシドリ科の一種になります。猫のような鳴き声を発することから、この名前がつけられました。



**カワセミの仲間**  
ヒメミツツビカワセミ、ルリミツツビカワセミ、リショウビンなどはクイーンズランド北部でよく見られる種類。あり塚の中に巣を作ります。



**ワライカワセミ**  
カワセミ科の中で最大種となります。鳴き方が人の笑い声に似ていることで知られています。



**ポイドフォレスト  
ドラゴン**  
木の上に住むトカゲでオーストラリア北部の熱帯雨林にだけ生息しています。



**レースモニター  
(ゴアナ)**  
黄色と灰色の模様があり、2mまで成長する大型のトカゲです。



**イースターン  
ウォータードラゴン**  
半水生のトカゲで90cmまで成長します。



**サルファークレスト  
ココトウ**  
非常に頭の良いオウムでオーストラリア全土の森林に生息します。



**ブラッシュターキー**  
力強い足で大きな塚を作りその中に卵を産む。育児をしないのでひな鳥は自身で身を守らなくてはなりません。



**スクラブパイソン**  
オーストラリア最大の蛇で、最大8mにまで成長します。



**マスキーラット  
カンガルー**  
カンガルー科の中では最小のカンガルー。成獣で約30cmまでしか成長しません。



**オオウロコ  
フウチョウ**  
“楽園の鳥”と言われこの鳥自慢の美しい青色は求愛のダンスのために使われます。



**サザンカソワリ**  
絶滅危惧種に指定されています。3番目に大きな飛べない鳥です。野生では1000頭しか残っていません。



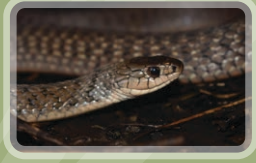
**オーストラリア  
オオウナギ**  
最大1.6mまで育つオーストラリア最大のウナギです。



**ツリースネーク**  
木登りが得意なヘビで体色のバリエーションが豊富です。時には青みがかった虹色になることも。



**シロハラコビトウ**  
鵜飼いにも使われる鵜で、主にオーストラリア、ニュージーランド、インドネシア、ニューギニアに生息。



**キールバックスネーク**  
オーストラリアで唯一の無毒の半水生ヘビです。毒ガエルのケイントッドを食べる唯一のヘビでもある。



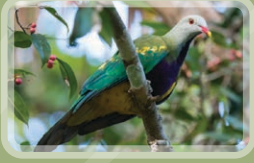
**ナンキンゴイサギ**  
主に夜行性でタスマニアを除くオーストラリア全土の水辺に生息。紫と黄色の羽は環境に良く溶け込む。



**オーストラリアヘビウ**  
細いくちばしと長い首が特徴で水面から見える頭と首がヘビのように見えます。



**エメラルドダブ**  
熱帯雨林に住む小型のハトで、地表でエサとなる果実などを探している。オスは羽の端に白い模様がある。



**ワープーアオバト**  
熱帯雨林に生息する大型のハト。特徴のある鳴き声が「ワープー」と聞こえることが名前の由来です。



**メタリック・スターリンク**  
熱帯雨林に住むムクドリ仲間。社会的で群れで木のうりにアパートのような巣を作る。

## 世界自然遺産である熱帯雨林について

ここには約1億5千万年以上、その姿を変えずに生息しているシダ植物などが多く残り、古代からの複雑な生態システムを持っています。

日光をさえぎるほど幾重にも重なった木々の枝葉が作る、キャノピー(林冠)と呼ばれる緑の天井があるのが特徴で、

さらにその下には他の植物が層を成して生息しています。1ヘクタール(約280m四方)の範囲の植物量は地上に約400トンの植物、地下1mには約200トンの植物の根などが密生しています。この高密度の植生から出る落ち葉の量は年間14トンにもなり、菌やバクテリア、または昆虫などがそれらを分解しています。これらの植物が1年間に蒸散する水分は、約1.25mにもなります。

そのため年間2m以上の降水量が熱帯雨林を保つためには必要となります。

## アーミーダックについて

正式名称 = **DUKW**  
**D**=1942年設計  
**U**=水陸両用車  
**K**=全輪駆動 (6WD)  
**W**=2軸の後輪

\* 第二次世界大戦で使用された軍用車両です。  
\* すべてのオフロードに対応した水陸両用車です。  
\* ハイウェイでは四輪駆動になります。  
\* ギアは前進が10段でバックは2段あります。

\* 戦時中はディーゼルエンジンは不足していたため直列六気筒のガソリンエンジンです。  
\* 地上では最大時速85kmまで、水上では8ノットまで出ます。  
\* 戦時中は女性によって組み立てられました。  
\* 当初は3年間だけ動くようにデザインされました。

動いている間はエンジンコンプレッサーを使って、タイヤの空気圧を運転席から調節できます。